

炭鉱と 唐津の近代化



芳谷炭坑〈唐津市所蔵〉



相知炭坑〈唐津市所蔵〉

2019
2/5 火 → 3/17 日



旧三菱合資会社唐津支店本館〈唐津市教育委員会所蔵〉

会場／旧高取邸 土蔵ギャラリー

時間／9:30～17:00

休館日／月曜日（*月曜日が祝祭日の場合は開館、翌日休館）

入場料／一般：510円／小・中学生：250円 ※団体（20名以上）：2割引

主催／公益財団法人 唐津市文化事業団

共催／唐津市教育委員会

後援／唐津市・FMからつ86.8MHz

唐津市旧高取邸：佐賀県唐津市北城内5-40 TEL.0955-75-0289

旧高取邸

炭鉱と唐津の近代化

唐津の石炭は幕末期になると軍艦の動力源としての需要が増え、唐津藩はもちろん薩摩藩も敵木や相知の幕府領で炭鉱経営に着手、さらには肥後・筑後の両藩も発掘に乗り出し、石炭資源の開発が本格化していきます。明治四年（一八七二）には新政府の海軍予備炭田に指定されるなど、唐津の石炭は全国的に高い評価を受けていたと思われます。その後、予備炭田が開放され、貝島や高取といった地方大手や三菱・住友の巨大資本が進出するようになり、唐津炭田は黄金時代を迎えます。幕末期から明治・大正・昭和にかけての唐津の石炭産業の歴史を、「肥前の石炭王」と称された高取伊好の炭鉱開発の経過を含め紹介します。



藤田家文書〈唐津市教育委員会所蔵〉



海上鉄橋を通る石炭列車〈唐津市所蔵〉



銅製象嵌花瓶
〈唐津市教育委員会寄託〉



石炭船で賑わう唐津港〈唐津市所蔵〉



アクセス

- ◆JR筑肥線「唐津駅」下車、唐津市内循環バス「城内二の門」下車徒歩5分
 - ◆福岡から呼子方面へ南城内駐車場入り口右折
- 唐津市旧高取邸：佐賀県唐津市北城内5-40 TEL.0955-75-0289



カンテラ〈唐津市教育委員会所蔵〉



坑内電話
〈唐津市教育委員会所蔵〉